

2026 年 3 月期 第 2 四半期(中間期) 決算発表(連結)について

(1) 2026 年 3 月期 第 2 四半期(中間期)決算について

【建設・梱包向セグメント】

住宅価格上昇や金利高等による買い控えや、前年度末の建築基準法改正前の駆け込み着工の反動もあり、新設住宅着工戸数は減少傾向にあります。この状況のなか、当社の売上高は **1,883 百万円**(前年同期 1,963 百万円)となりましたが、生産性向上、固定費削減、海外 O E M 商品と国内生産品のプロダクトミックス最適化等の結果により、セグメント利益は前年同期比 6 百万円増の **157 百万円**となりました。

【電気・輸送機器向セグメント】

ハイブリッド車・電気自動車用電動モーターや電動化部品に使用されるライセンス品やパーツフォーマー品の需要が増加しました。また、自動運転化関連・エレクトロニクス制御装置に使用されるライセンス品やボルト・特殊締結品の需要も堅調で、当社の受注及び生産も引き続き順調に推移しました。この結果、前年同期に比べ売上高は 5.9%増の **823 百万円**、セグメント利益は 30.2%増の **79 百万円**となりました。

当社グループ連結の 2026 年 3 月期 第 2 四半期(中間期)の決算は下記の通りです。

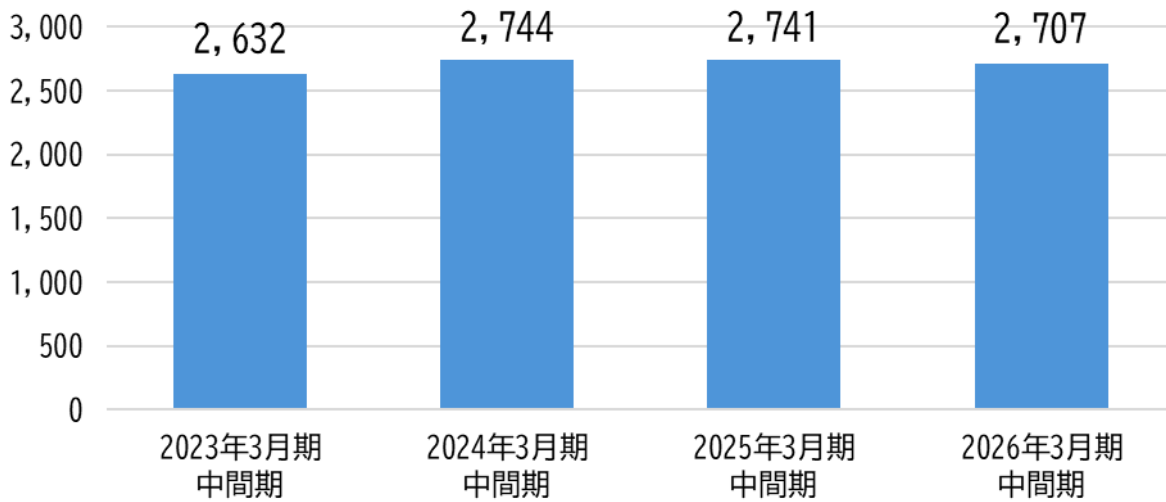
	2025 年 3 月期 中間期	2026 年 3 月期 中間期
売上高(百万円)	2,741	2,707
営業利益(百万円)	108	137
経常利益(百万円)	97	129
純利益(百万円)	64	86

(2) 2026 年 3 月期 通期業績見通しについて

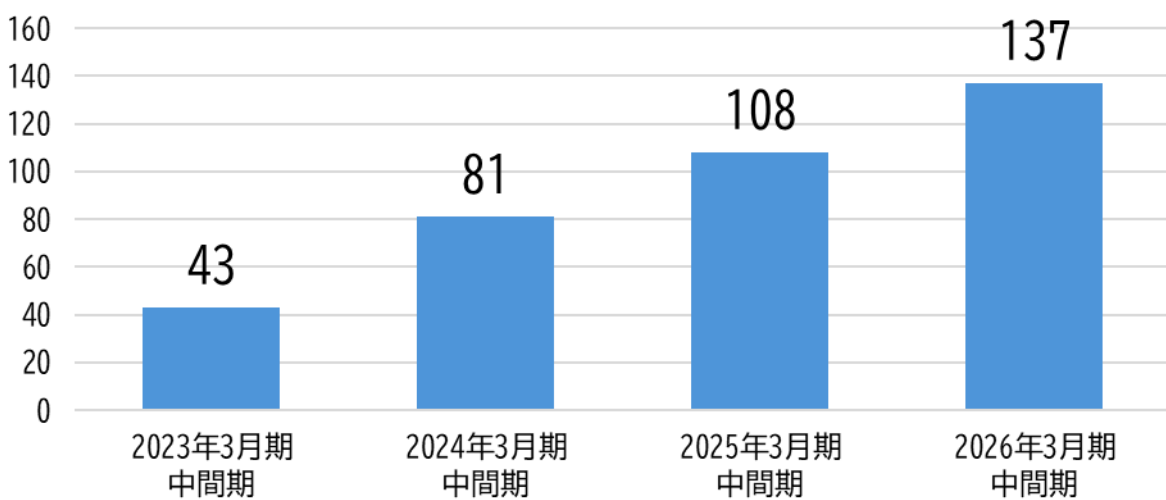
通期の連結業績予想に変更はなく、下記の通りです。

	2026 年 3 月期 通期予想
売上高(百万円)	5,700
営業利益(百万円)	240
経常利益(百万円)	220
純利益(百万円)	145

◆売上高(単位：百万円)



◆営業利益(単位：百万円)



◆経常利益(単位：百万円)

